

2021年12月期 通期決算説明資料

~事業計画及び成長可能性に関する事項~



2022/02/28

株式会社Welby
(証券コード 4438)

目次

1

会社概要

2

2021年12月期業績

3

重点取組施策の前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

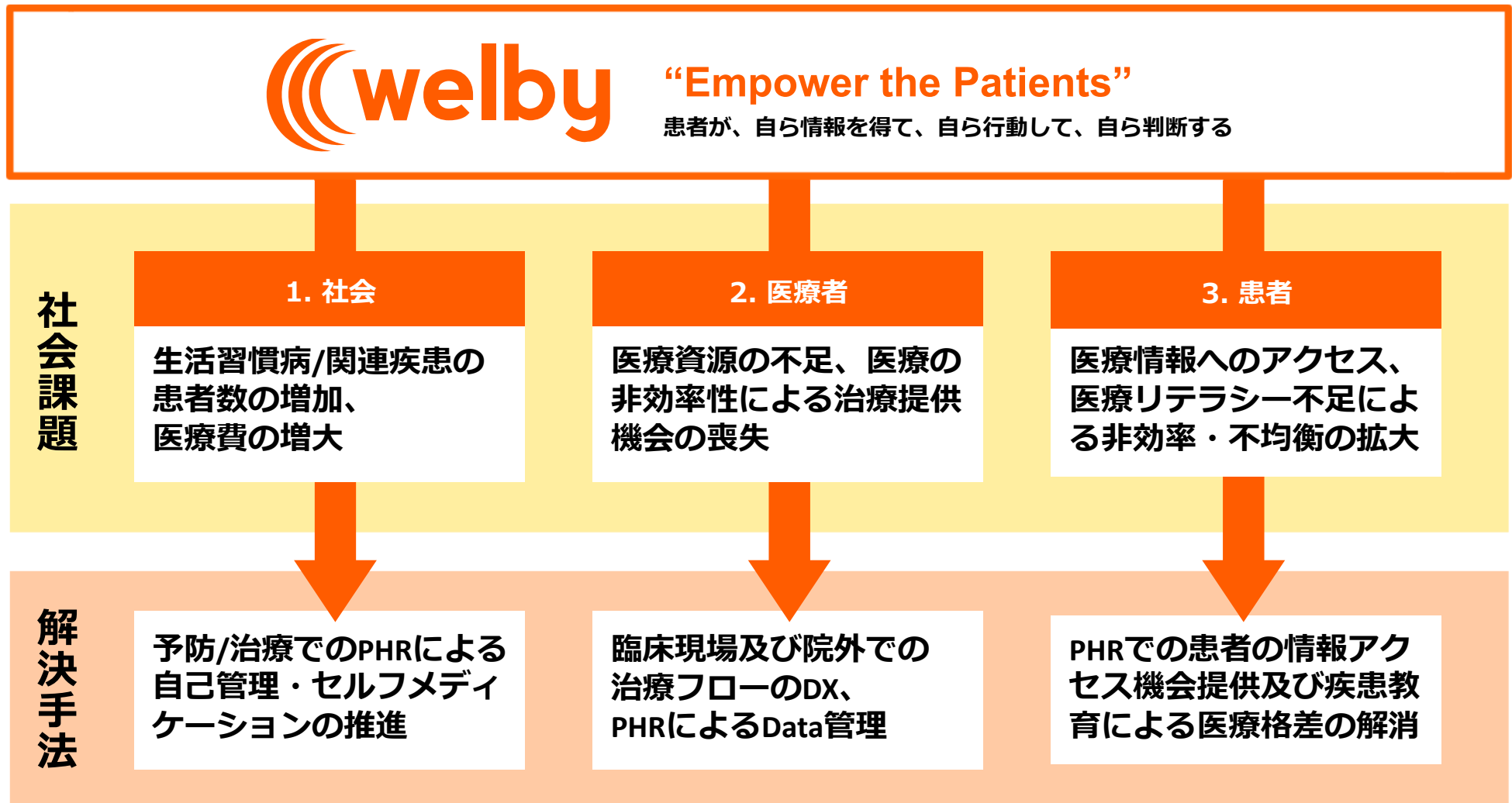


“Empower the Patients”

患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する



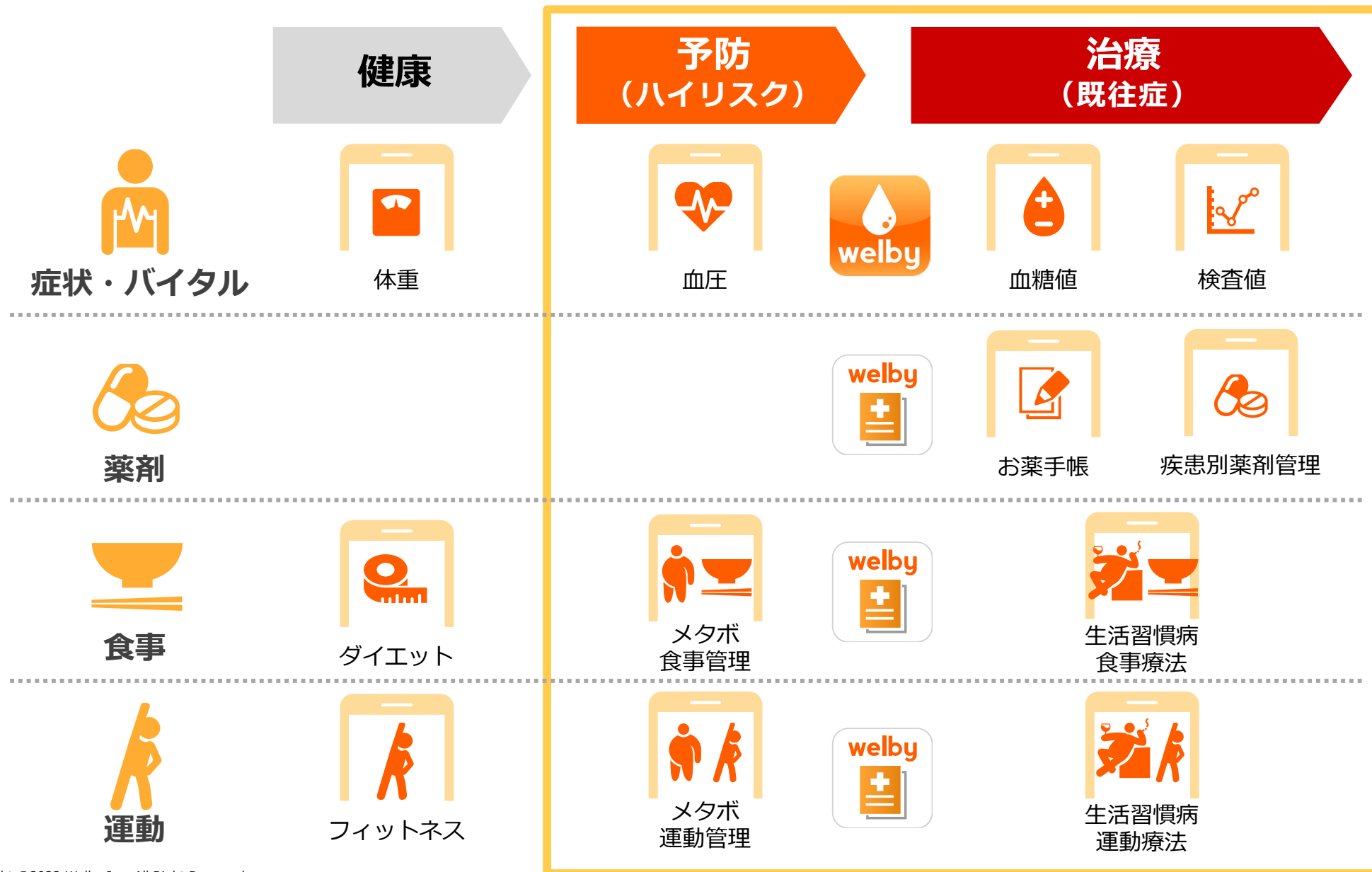
MissionであるEmpower the Patients の実現を通じて、医療にまつわる様々な社会課題の解決を図る



※PHR:Personal Health Recordの略で個人のHealth Recordを管理共有する仕組み

予防・治療領域に特化したPHRプラットフォームサービス

治療領域は健康・予防領域に比べて、参入障壁が高く当社は社会実装で競争優位性あり



「治療アプリ」として、PHRを処方する時代に

～医療機関にて患者に疾患別アプリを紹介：糖尿病、高血圧、がん 等～

1 医師が患者にアプリを紹介

クリニック専用パンフレットで案内
クリニック専用アプリを提供



2 患者自身がかんたん記録

バイタル/食事/運動/処方(QRコード)/
検査値(QRコード)等測定機器と連動

Bluetooth® HRジョイント。



4 療養指導を効率的/効果的に 患者の治療が継続

治療継続・効率化

アウトカム改善



3 データをグラフ化、印刷 データは医療機関と共有

医療機関の
PC/タブレット等で確認



食事管理



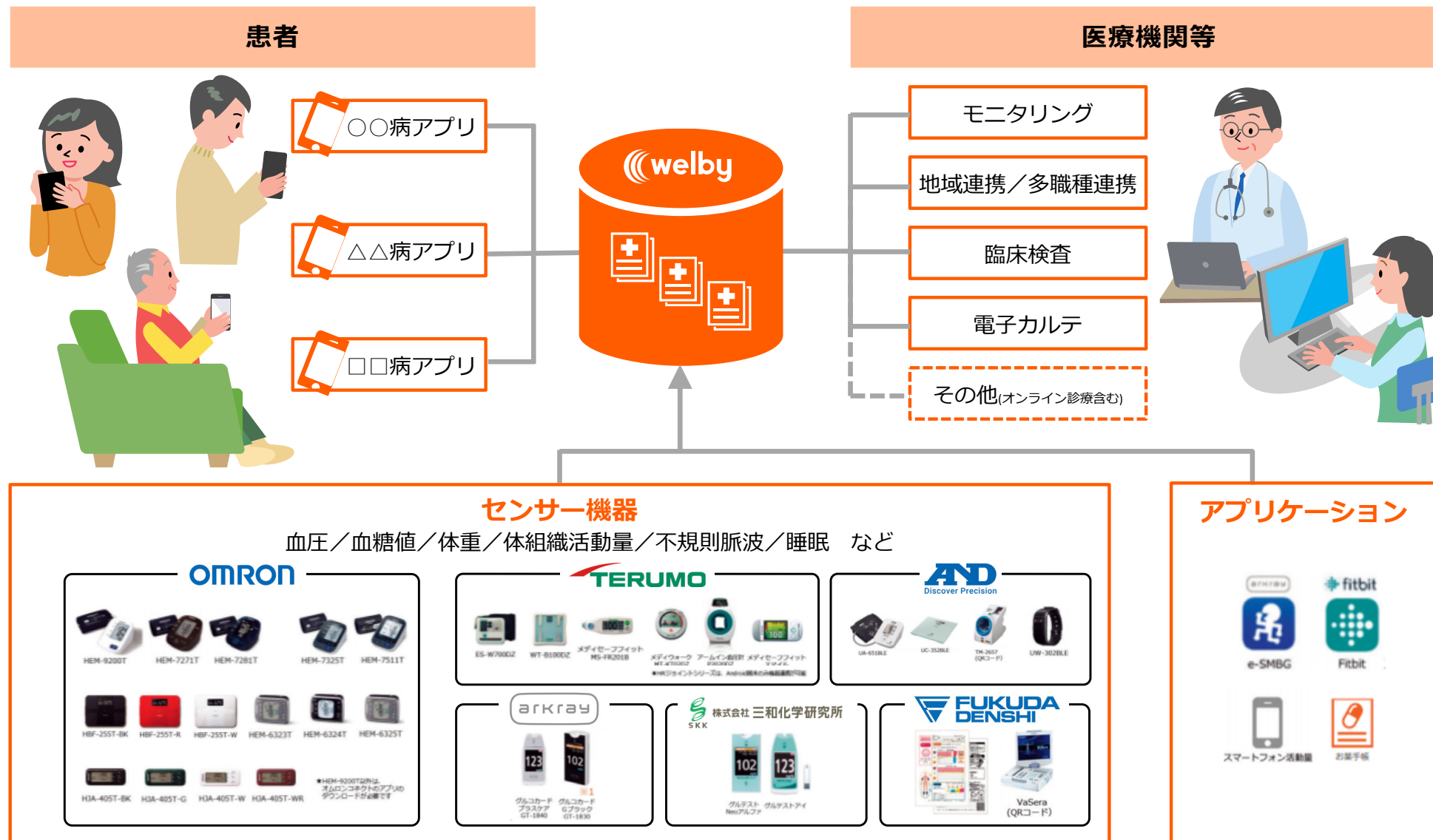
血圧・体重



血糖値



各種医療サービス・機器と連携可能な患者起点のデータプラットフォームを提供



社会課題解決をパートナー企業と連携して推進

プラットフォーム構築
(Data/サービス)

社会実装
(普及/収益化)

Digital Garage

intage

OMRON

FUKUDA DENSHI

株式会社 三和化学研究所
SKK

TERUMO

arkray

FUJITSU

“Empower the Patients”

患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する

日本郵政

SUZUKEN

AstraZeneca

Aflac

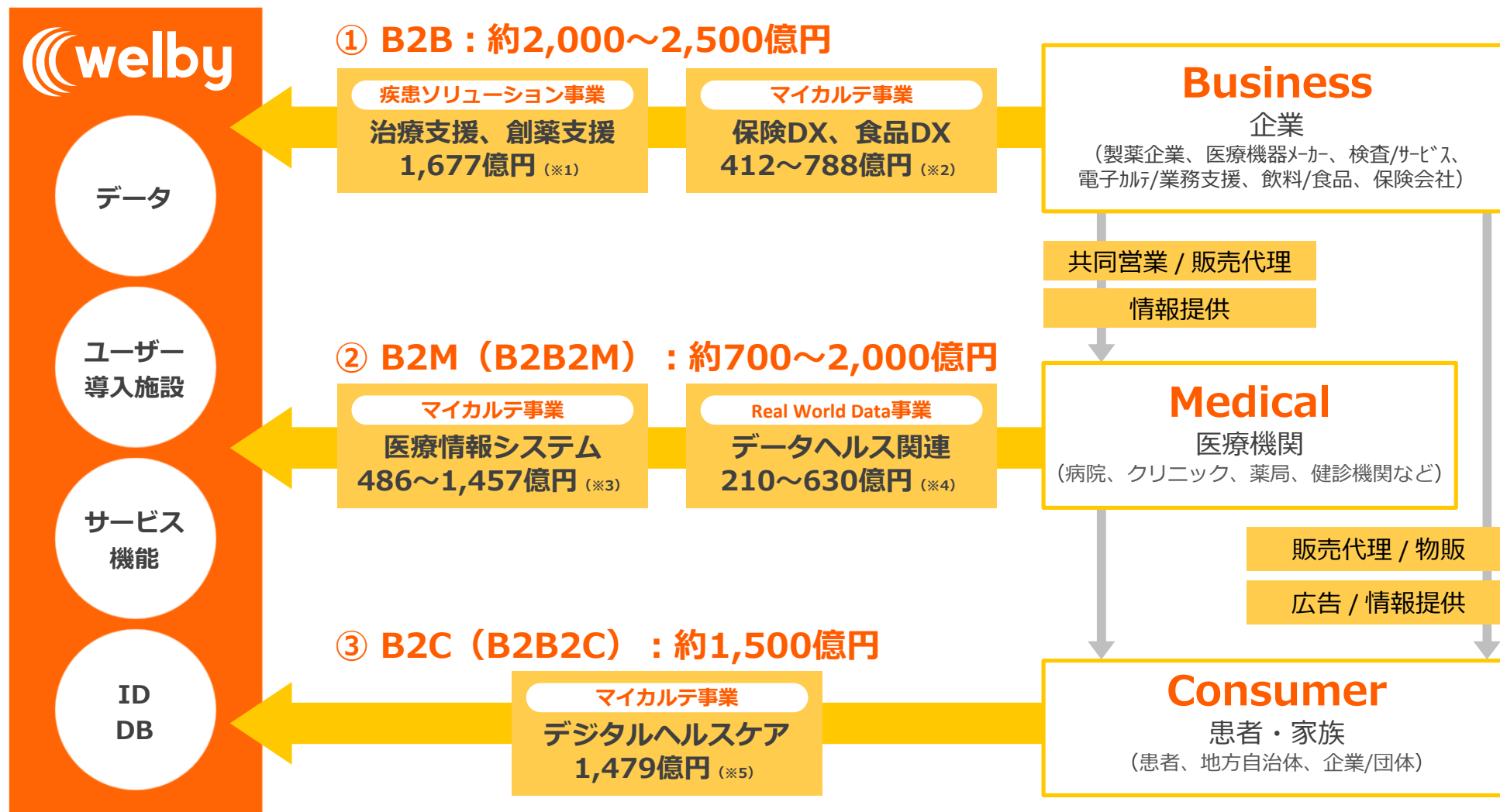
Benefit one

NTT docomo

Designing The Future
 KDDI

SoftBank

dentsu



※1 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.2」より、創薬支援、医療ビッグデータ分析、医薬品開発支援、医療向けプロモーション市場規模の合計1284億円と、同文献項目、ビッグデータ活用治療・診断システムの市場規模3928億円のうち、10%にあたる393億を合算した1677億を潜在市場として想定。

※2 保険DX市場は、矢野経済研究所:「2020-2021 生命保険会社におけるInsuretech市場の実態と展望」における2021年同市場規模1880億円の10%~30%を潜在市場として推定。
食品DX市場は、dentsu:「日本の広告費」における2020年食品業界広告費2240億のうち、10%を潜在市場と推定し、両市場を合算。

※3 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.1」より、医療情報システムの国内市場規模4855億の10%~30%を潜在市場として推定。

※4 シードブランニング:「データヘルスの市場動向と保険者支援事業者調査2020」より、2019年特定健診・特定保健指導、重症化予防・制度外保険指導等の合算2101億の10%~30%を潜在市場として推定。

※5 野村総合研究所:「ITナビゲーター2021年版」における、第5章 x Tech(B2C)市場 5.6. Health Tech (ヘルスケア) 市場の2021年市場規模1479億を潜在市場として想定。

目次

1

会社概要

2

2021年12月期業績

3

重点取組施策の前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

COVID-19への対応

- ・新型コロナワクチン接種前後の症状管理・共有を担うPHRプラットフォームを提供

PHRサービスの収益化の拡大

- ・電通とPHRを基点とした生活者個人に合わせたヘルスケアサービス創出を目指し業務提携
- ・乳がん患者向けPHRサービスをリリース（オンコロジー領域のサービス拡充）
- ・心房細動患者向けPHRサービスをリリース（循環器領域のサービス拡充）
- ・保険会社向けPHRデータ連携サービスの推進（データ / 機器連携の強化）
- ・ダイードリンコと連携し生活習慣改善プログラムを実施（食品ドメインでのPHR利用推進）

PHRプラットフォームの強化、社会実装

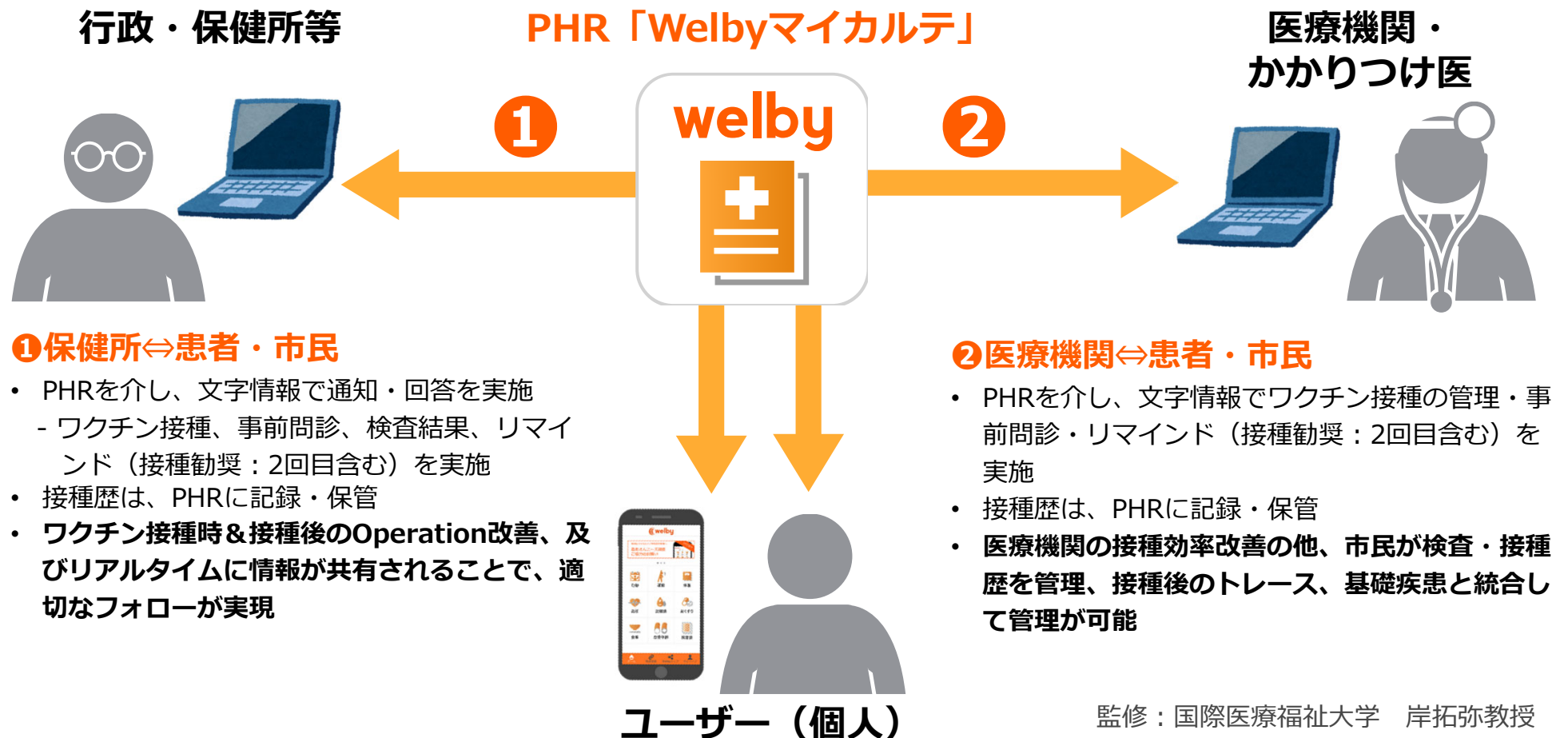
- ・顧客向けにPHR基盤プラットフォームのOEM提供を行うサービスの拡大
- ・三和化学研究所と連携しての糖尿病領域での医療機関・患者向け普及推進
- ・神戸大学によるがん領域の臨床研究において、WelbyのPHRプラットフォームがePROとして採用
- ・Welbyのがん患者向けPHRにおいて、治療・生活トータルでの患者QOL向上に向けてのサービス拡充

Real World Dataプラットフォーム構築を推進

- ・プラットフォーム基盤強化への先行投資を推進
- ・電子カルテメーカーとデータ連携によるEMR/EHR連携の強化

2021年3月、PHRサービス「Welbyマイカルテ」の拡充機能として、新型コロナワクチン接種管理サービスをリリース。PHRプラットフォームの機能（記録・共有）を用い、医療機関やユーザーの利用ニーズに迅速に対応

COVID-19対応 | 新型コロナワクチン接種管理サービス



①保健所⇄患者・市民

- PHRを介し、文字情報で通知・回答を実施
 - ワクチン接種、事前問診、検査結果、リマインド（接種勧奨：2回目含む）を実施
- 接種歴は、PHRに記録・保管
- ワクチン接種時&接種後のOperation改善、及びリアルタイムに情報が共有されることで、適切なフォローが実現

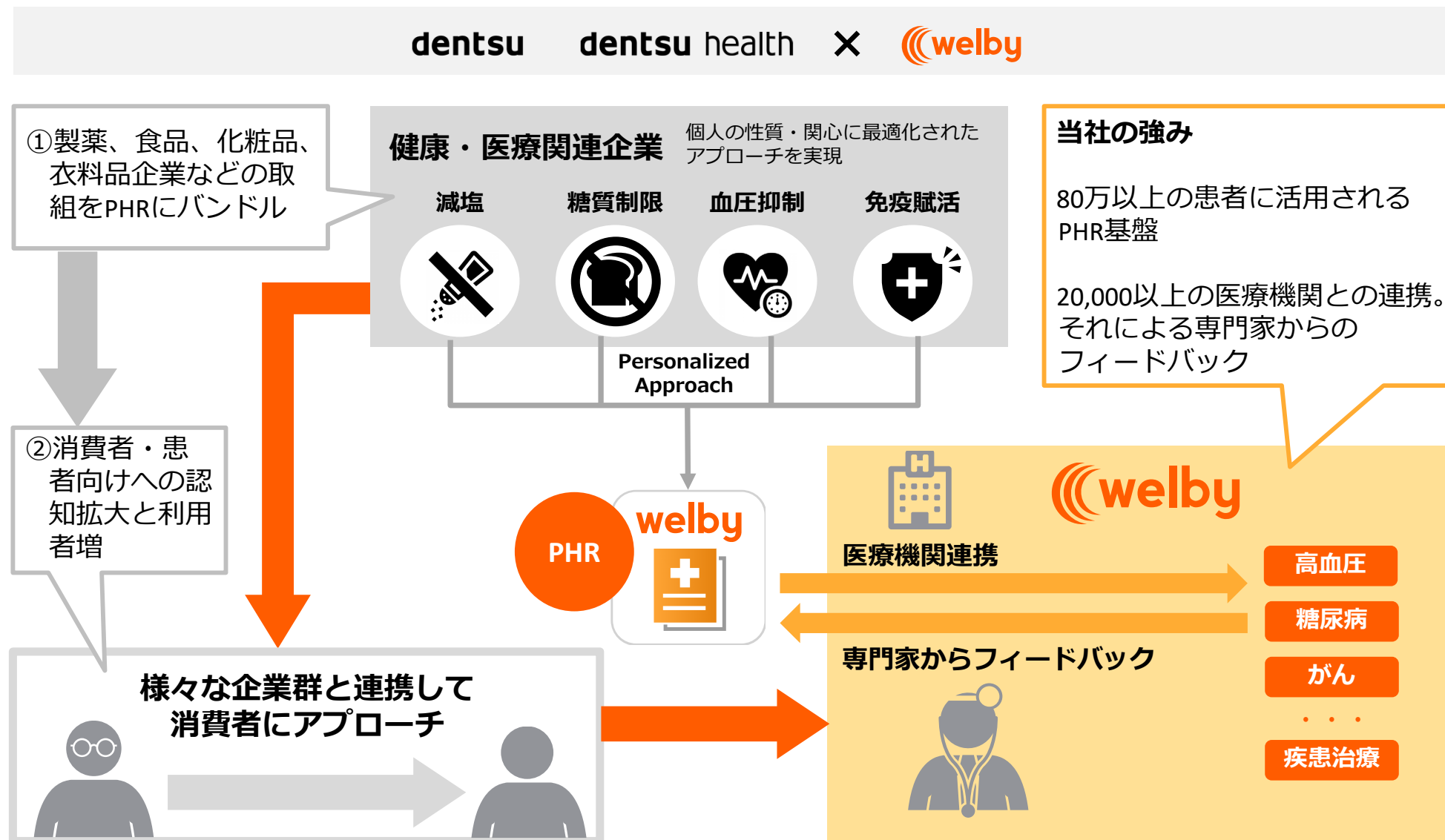
②医療機関⇄患者・市民

- PHRを介し、文字情報でワクチン接種の管理・事前問診・リマインド（接種勧奨：2回目含む）を実施
- 接種歴は、PHRに記録・保管
- 医療機関の接種効率改善の他、市民が検査・接種歴を管理、接種後のトレース、基礎疾患と統合して管理が可能

監修：国際医療福祉大学 岸拓弥教授

PHRによるパーソナライズサービス推進：電通グループとの提携

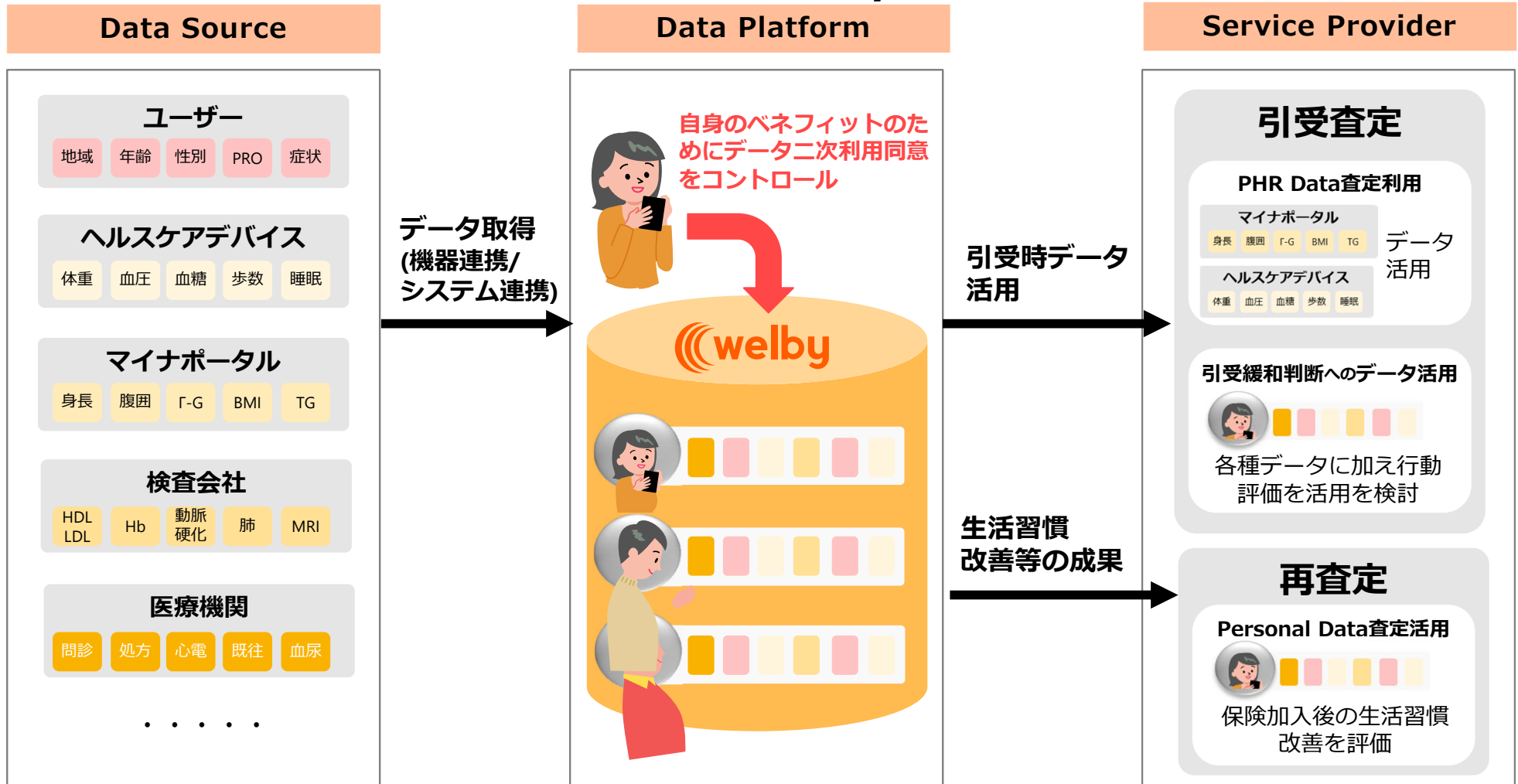
健康・医療関連企業にPHRを基盤としたパーソナライズ(個別化) アプローチの機会提供を電通グループと共に推進



データ / 機器連携の強化

① 保険会社向けPHR Data連携サービスの推進

Personal Dataの結合点としてのプラットフォームを実現し、個人中心の制御による情報提供・獲得を通じてData Portabilityを推進



取組 1

査定に関わる医療的な情報を集約することを目指す

取組 2

同意にもとづき二次利用可能なデータを流通させる仕組み作り

取組 3

引受査定、再査定活用での更なる価値の向上を目指す

データ / 機器連携の強化

②三和化学研究所と連携して糖尿病領域での医療機関・患者向け普及

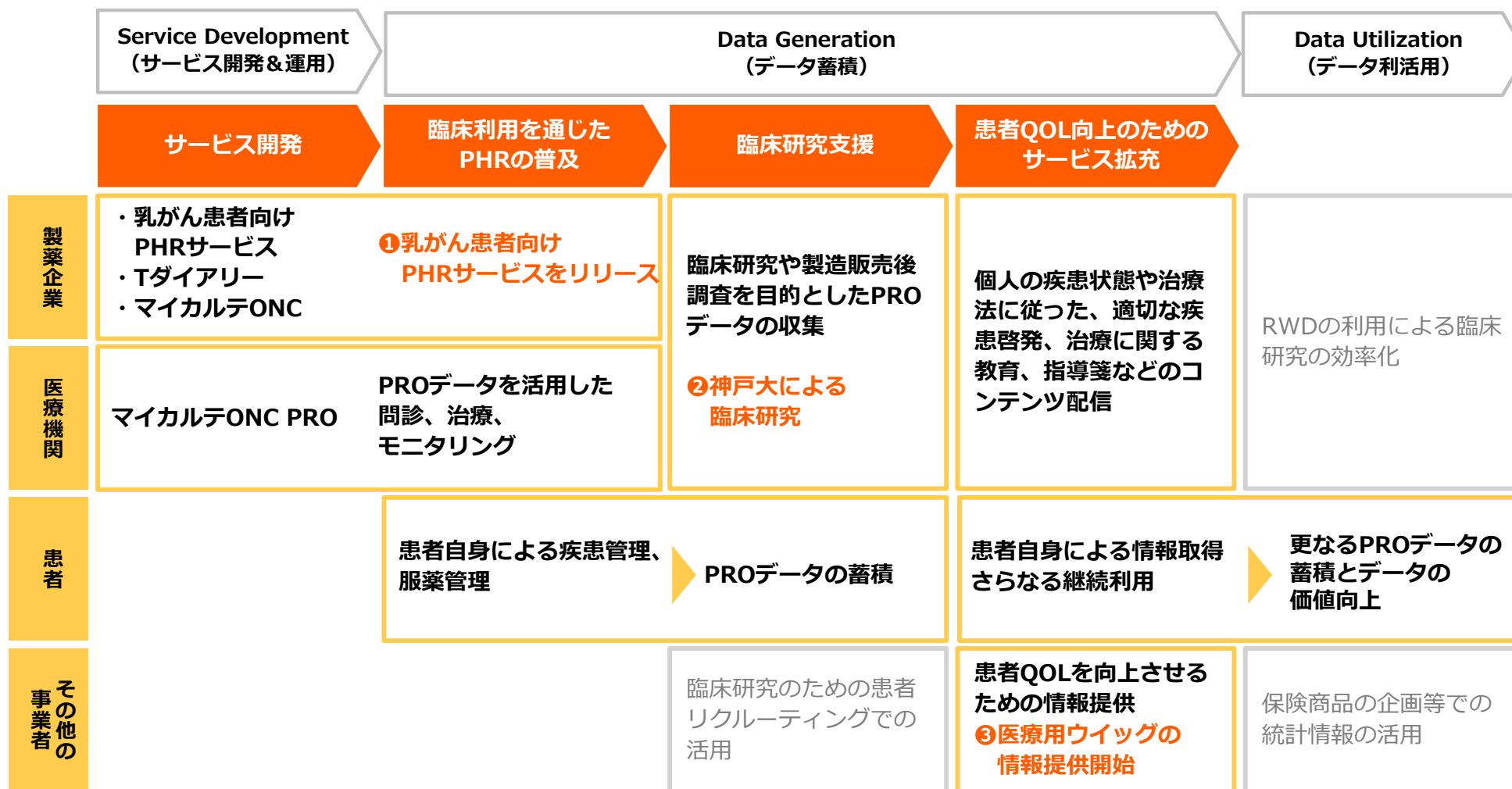
同社の自己血糖測定器「グルテストアクア」との連携の実装を皮切りに
糖尿病領域での普及を推進し医療機関・患者の診療・治療サポートに貢献



がん領域における事業進捗

がん領域の事業のData Generationを加速する施策を推進

- ① 乳がん患者向けPHRサービスをリリース
- ② 神戸大学によるがん領域の臨床研究において、WelbyのPHRプラットフォームがePROとして採用
- ③ Welbyのがん患者向けPHRにおいて、治療・生活トータルでの患者QOL向上に向けてのサービス拡充。第一弾としてアトネイチャーと協業して医療用ウィッグの情報提供を開始

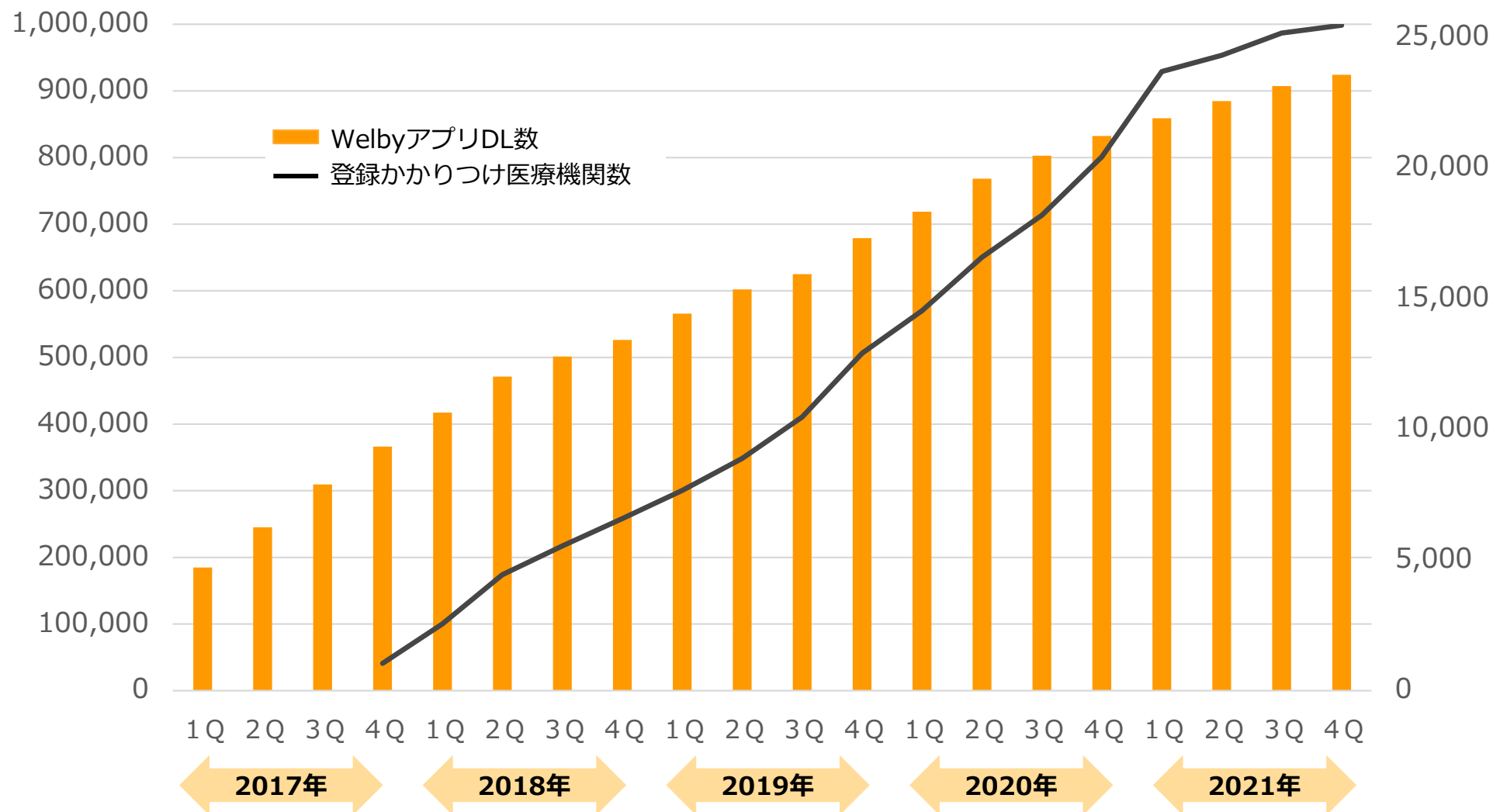


これまでの活用してきたPHR基盤とPHR製造部品を体系化。開発速度と品質を向上させ、PHR量産体制を準備することで競争優位性の向上に寄与
今期も継続して投資を行い、来期以降の収益貢献を見込む

取組分野	プラットフォーム開発の取組	活用する事業領域
PHRサービス	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">糖尿病 アプリ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">循環器 アプリ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">呼吸器 アプリ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">精神 疾患 アプリ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">がん アプリ</div> </div>	<p>疾患ソリューション 対象疾患の継続的拡大でユーザー獲得を進める</p>
PHR PF Developers Kit (エコシステム構築)	各種SDKの提供による開発者支援 (Welby IDログイン, 同意取得, 評価指標など)	ステークホルダーを巻き込み 大きなPFへ
マイカルテ事業 医療機関連携	マイカルテ事業を中心にした医療機関とのデータ連携 (医療者向け画面, 服薬情報連携, EHR連携など)	医療機関連携先の拡大 (クリニックだけでなく薬局等も)
PHR PF データマネジメント	各種データ連携API / 提供機能APIの開発 (機器連携, 臨床データ連携, 医療マスタAPIなど)	データ統合によるDXの推進 マーケティング活用 (Personalized DTC)
PHR PF Welby ID/DB基盤	WelbyID・DBプラットフォーム共通基盤の開発 3省2ガイドライン, HIPAAを参照したセキュリティ及び情報管理体制	エビデンスソリューション強化

【共通プラットフォーム構築の狙い】 共通部品での統一品質、共通の開発手法での速度向上、共通基盤化での統一のセキュリティ品質
早期共通化による新規開発の効率化、開発速度や品質向上による案件数増加に伴う収益貢献を見込む

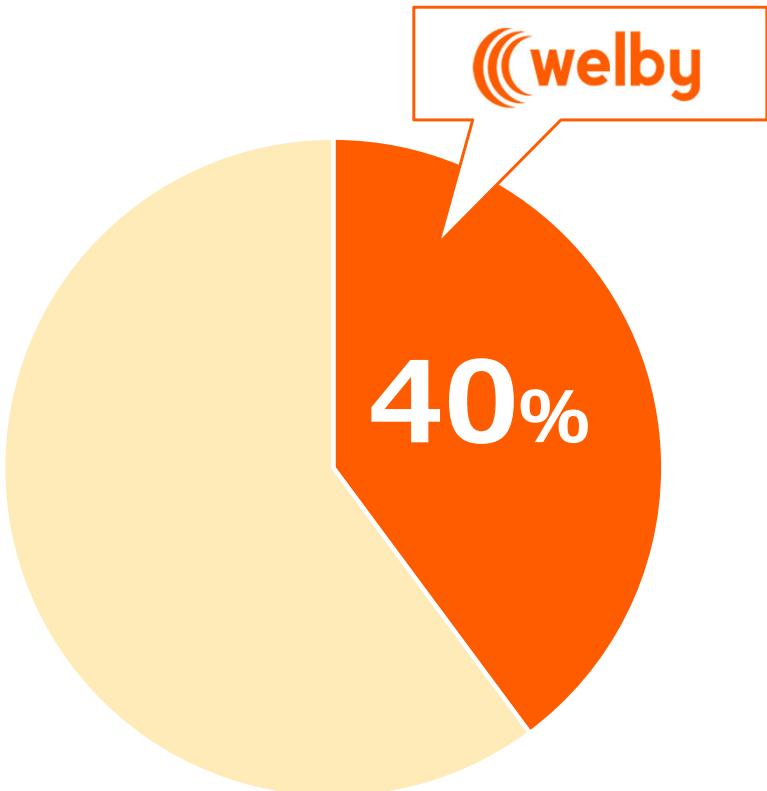
2021年12月末現在でアプリDL92万人超、登録かかりつけ医療機関数は2.5万施設



クリニックを中心に約25,500 医療機関でPHRが活用。「かかりつけ医」の役割を担う全国の内科系クリニックの4割に迫る 先行導入する医療機関とも連携し、更なる普及を推進へ

Welby導入は内科系クリニック
(約64,000件*)の約4割

Welbyを活用する医師の
PHRのエビデンス・発信



*)厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概況」より算出

読賣新聞 全国版・朝刊 (2021年1月14日)

【医療ルネサンス】アプリで健康に
生活習慣病データで管理

プレスリリース (2021年8月20日)

PHR活用で生活習慣改善に対する
コンプライアンスの向上と、
HbA1cの改善が示唆

日本糖尿病学会誌
『糖尿病』に掲載

2021年8月20日
報道関係 各位
PRESS RELEASE
株式会社 Welby

PHR 活用で生活習慣改善に対するコンプライアンスの向上と、HbA1c の改善が示唆
— Welby マイカルテを用いた研究が、日本糖尿病学会誌「糖尿病」に掲載 —

株式会社 Welby (本社：東京都中央区、代表取締役：比木 龍、以下 Welby) は、PHR (Personal Health Record s.s.) プラットフォームである Welby マイカルテ (以下、マイカルテ) を用いた臨床研究論文である「Personal Health Record (PHR) による糖尿病患者の生活習慣の改善」(とちがけクリニック糖尿病・生活習慣病センター、所在：東京都新宿区、院長 榎原 隆) の中で、マイカルテの活用により、生活習慣改善に対するコンプライアンスが向上し、アウトカムとして HbA1c が改善することが示唆されたとの報告がなされました。お知らせいたします。

同臨床研究は、とちがけクリニック 院長 榎原 隆によるもので、2 型糖尿病患者の治療において、マイカルテの健康情報記録を活用して、HbA1c と体重の低下効果を検討したものです。同クリニックに連院診があり、院診が得られた 2 型糖尿病患者 74 名を研究対象に行われました。

研究結果として、対象期間の HbA1c に有意な改善が認められたほか、3ヵ月利用継続率 (15 日/月以上) に対しては HbA1c が 0.5% から 7.1% から 1ヵ月後に 6.8% に有意に低下し、その後 6ヵ月後まで持続しレベルで継続したことなどが報告されました。

また、これらをもとに考察では、「これらの結果はマイカルテの使用が治療へのアドヒアランスに影響した可能性を示唆するものである」(図表 P345 L9-11) と認められ、「PHR を利用することで血圧や体重の測定が習慣づけられ、食事内容などを意識するようになったことが考えられる」(図表 P348 L7-9)、「モチベーション向上につながった可能性も考えられる」(図表 P348 L11-12)、「食事や運動が適切に修正された可能性がある」(図表 P348 L13-14) と報告されています。

なお、本論文に先行し、2019 年 5 月に開催された第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会で、「PERSONAL HEALTH RECORD を用いた糖尿病管理」と題して榎原院長によるポスター発表がなされました。

【掲載】糖尿病 他 糖尿病 64 (6) : 341-349, 2021 259頁
Welby では、PHR サービスの提供を通じて、様々な医療機関を対象とする、医療支援サービス「サービス」の企画・開発・運用を行っています。今後も、この度の研究に用いられたマイカルテをはじめとした PHR サービスの導入実績や、PHR での治療アウトカムの研究実績を発信していくことにより、治療アドヒアランス向上を支援してまいります。

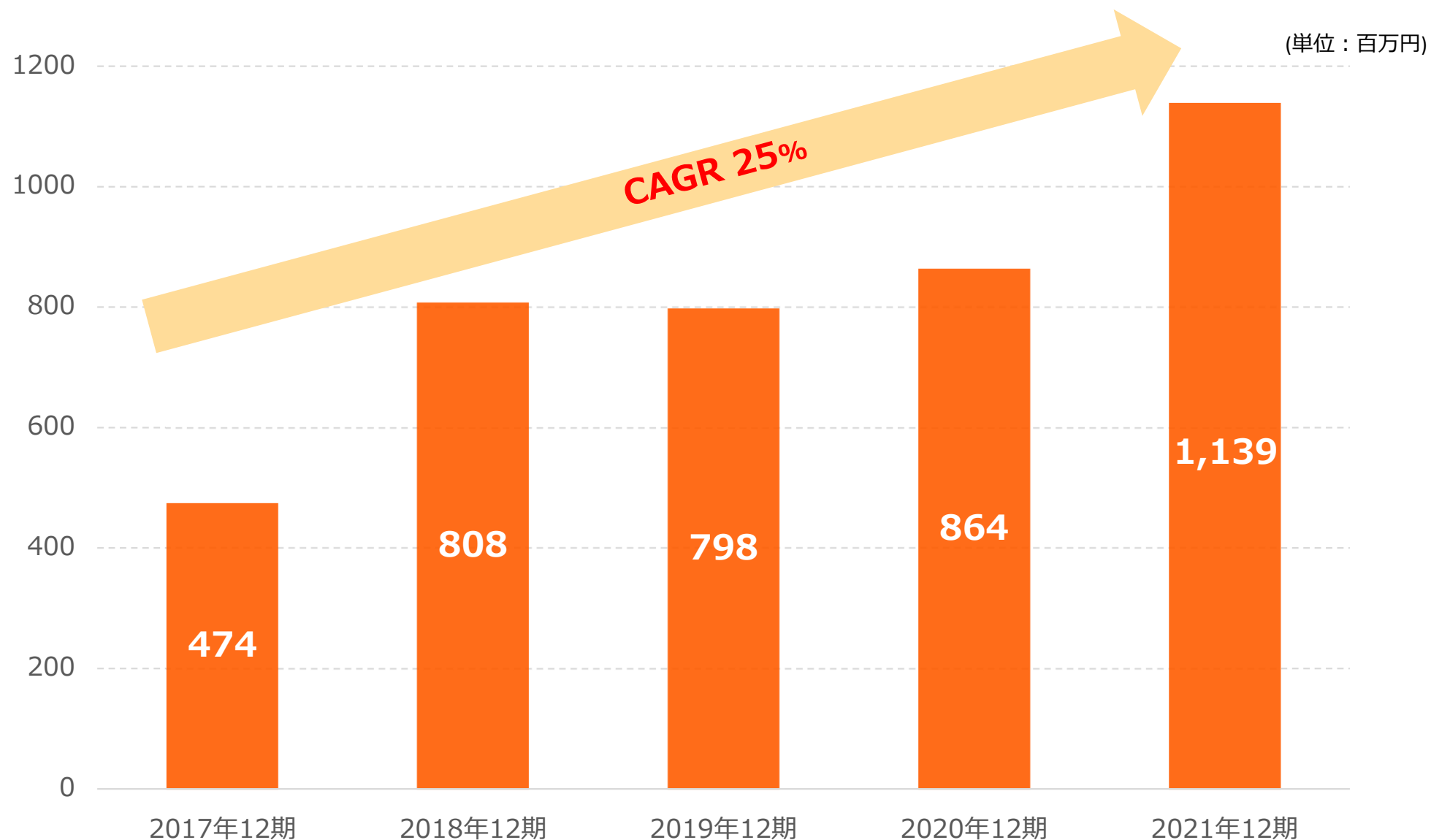
売上高は前期比+31.8%の増収、営業利益も前期比+124M

(単位：百万円)

	2021年 12月期実績	2020年 12月期実績	増減額	増減率
売上高	1,139	864	+274	+31.8%
(疾患ソリューション事業)	817	670	+146	+21.9%
(マイカルテ事業)	321	193	+127	+65.9%
営業利益	-113	-237	+124	-
(利益率)	-9.9%	-27.5%	17.6%	-
経常利益	-109	-237	+127	-
当期純利益	-130	-353	+222	-
(内)先行投資金額	156	116	+40	+34.4%

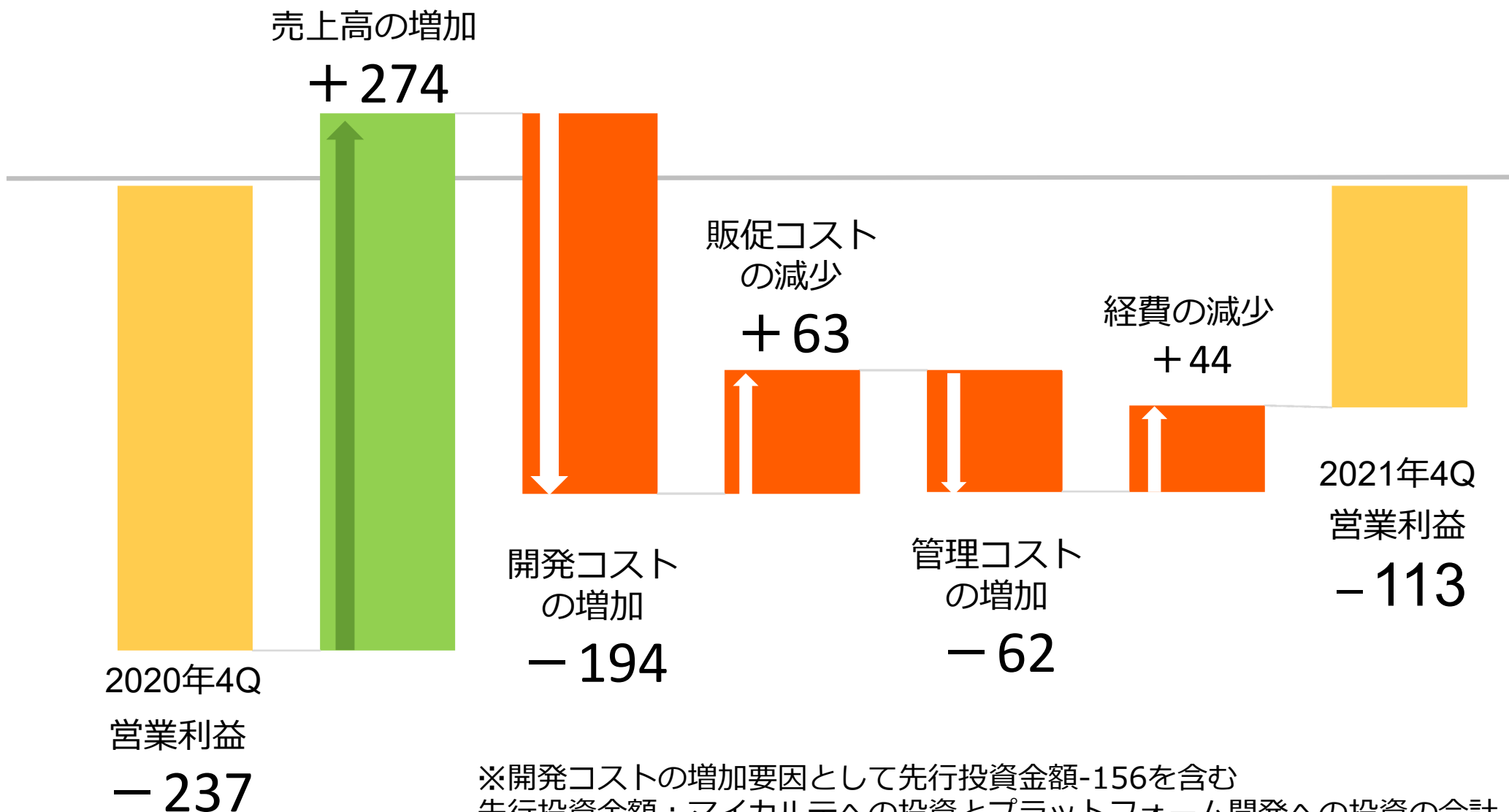
※先行投資金額：マイカルテへの投資とプラットフォーム開発への投資の合計
 ※疾患ソリューション事業には一部Real World Data事業での収益を含む

5年CAGR 約25%となり継続的な成長を実現



プラットフォーム開発を含めた事業拡大のための開発人件費の投資を継続
 開発人件費の主な増加要因は、売上増加に伴うものとプラットフォーム開発への投資(※)

(単位：百万円)



※開発コストの増加要因として先行投資金額-156を含む
 先行投資金額：マイカルテへの投資とプラットフォーム開発への投資の合計

流動資産減は主に赤字に伴う現預金の減少によるもの

(単位：百万円)

BS

	2021年 12月期	2020年 12月期	増減額
流動資産	1,320	1,461	-141
固定資産	73	58	+15
資産 合計	1,394	1,520	-126
流動負債	126	147	-20
固定負債	8	15	-7
負債 小計	134	162	-27
純資産	1,259	1,357	-98
純資産 小計	1,259	1,357	-98
負債・純資産 合計	1,394	1,520	-126

CF

	2021年 12月期	2020年 12月期	増減額
現預金の期首残高	1,098	1,208	-110
営業キャッシュ・フロー	-95	-110	+15
投資キャッシュ・フロー	-34	-19	-15
財務キャッシュ・フロー	-7	19	-27
現預金の期末残高	960	1,098	-137

目次

1

会社概要

2

2021年12月期業績

3

重点取組施策の前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

疾患ソリューション事業

- 製薬企業向け疾患領域別PHRのOEM開発の更なる拡大（30+疾患領域をカバー）
- 疾患領域別PHRの医療機関・患者への臨床現場での普及、事業拡大：
～オンコロジー領域、循環器領域、糖尿病・代謝領域でのプラットフォーム化の推進～
- 臨床研究向けePRO、データソリューションを強化：パートナーシップでのサービス強化・拡販

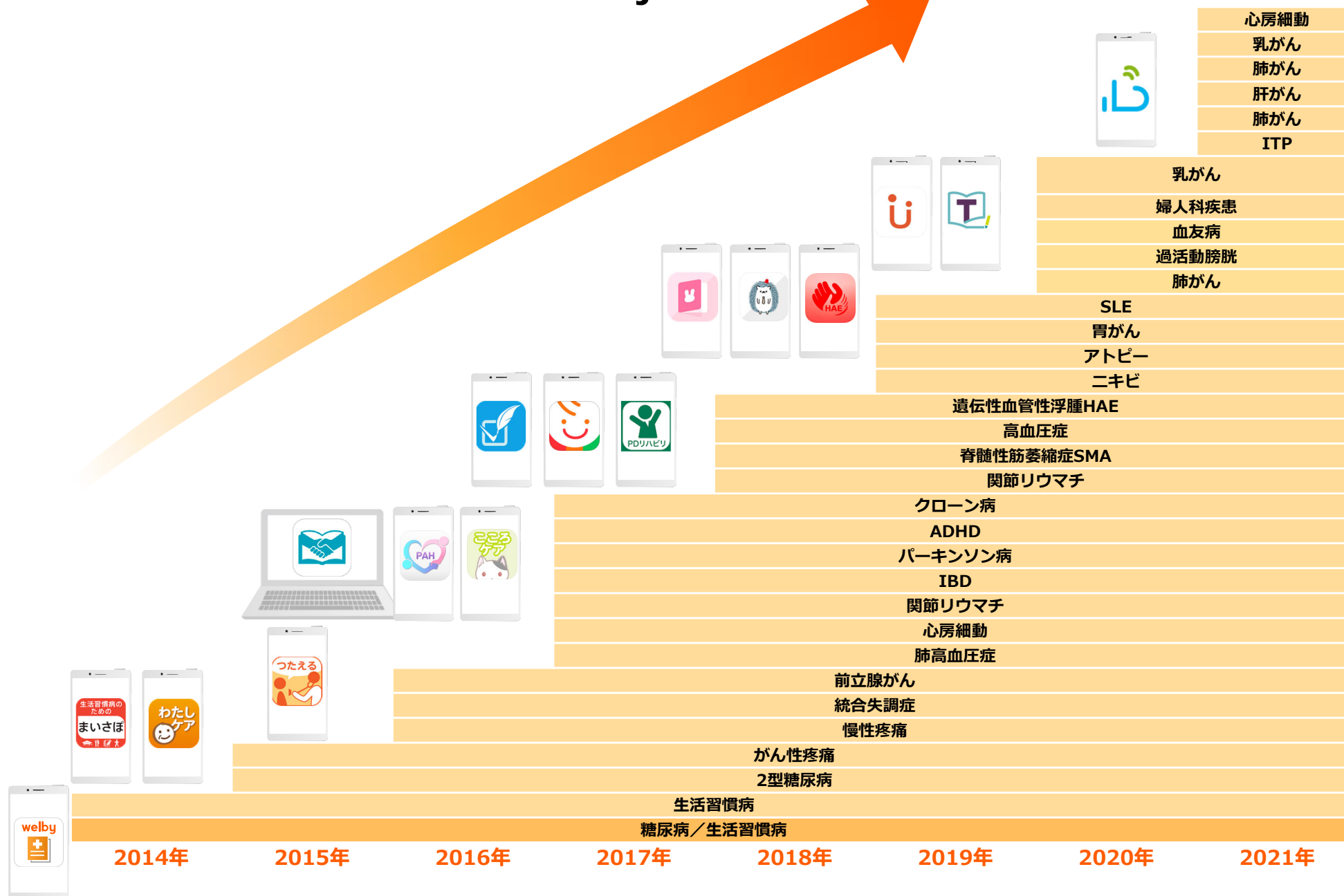
マイカルテ事業

- 「Welbyマイカルテ」のプライマリ領域（循環器領域、糖尿病領域など）での更なる普及
- COVID-19に対応した個人・組織・医療機関のPHRでのサポートの強化：ワクチン接種管理
- ユーザー向けPersonalized（個別化）サービスの強化：医薬品、医療機器、+医薬品以外のドメインへの事業拡大
- 顧客向けにPHR基盤プラットフォームのOEM提供を行うサービスの拡大
- 保険ドメインでのPHRによる事業化の推進

Real World Data事業

- 個人IDでデータを連携させるReal World DataのDBを推進：健診+検査+処方+PROデータ
- 電子カルテを中心にEMR/EHR連携の強化：データ連携+臨床現場への社会実装
- 収益基盤をスポンサードPHR開発/利用に加えて、PHRサービス・データ利用のSaaS/PaaS型事業の拡大を図る：医薬品、医療機器、+医薬品以外のドメインなど

多数の疾患領域と活用目的で30Project超の実績



疾患別治療アプリに共通基盤提供

- ▶ 高度のセキュリティ対策を施した“Welby PHR プラットフォーム”をベースに、各疾患患者向けアプリおよび連携サービスを構築（プラットフォームが様々な連携/拡張を可能に）
- ▶ サービスリリース後の運用（データベース、アプリの保守、カスタマーサポート等）までフルサポート



オンコロジー（がん）領域向けPHR「WelbyマイカルテONC」

①患者さん視点のがん症状の「見える化」、②情報アクセス機会の提供によりがん患者さんの治療アウトカム向上。アドヒアランス向上と有害事象管理で継続的な治療を実現

Welby マイカルテONCの提供

医療機関

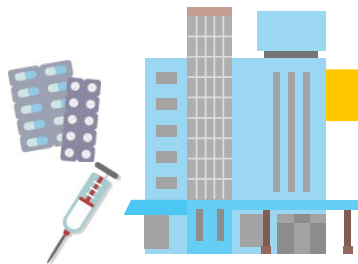


コミュニケーションサポート

課題

- ・ 院外情報の把握が困難
- ・ 患者教育を十分に行えない

製薬会社



適正使用情報PRO情報提供

- ・ 個に最適化された情報処方により、Drop率の低下や有害事象対応の迅速化、最小化を実現
- ・ 結果的に患者さんのアウトカム最大化に貢献

課題

- ・ 患者さんに適切なタイミングで情報を届けられない



マイカルテONC

患者



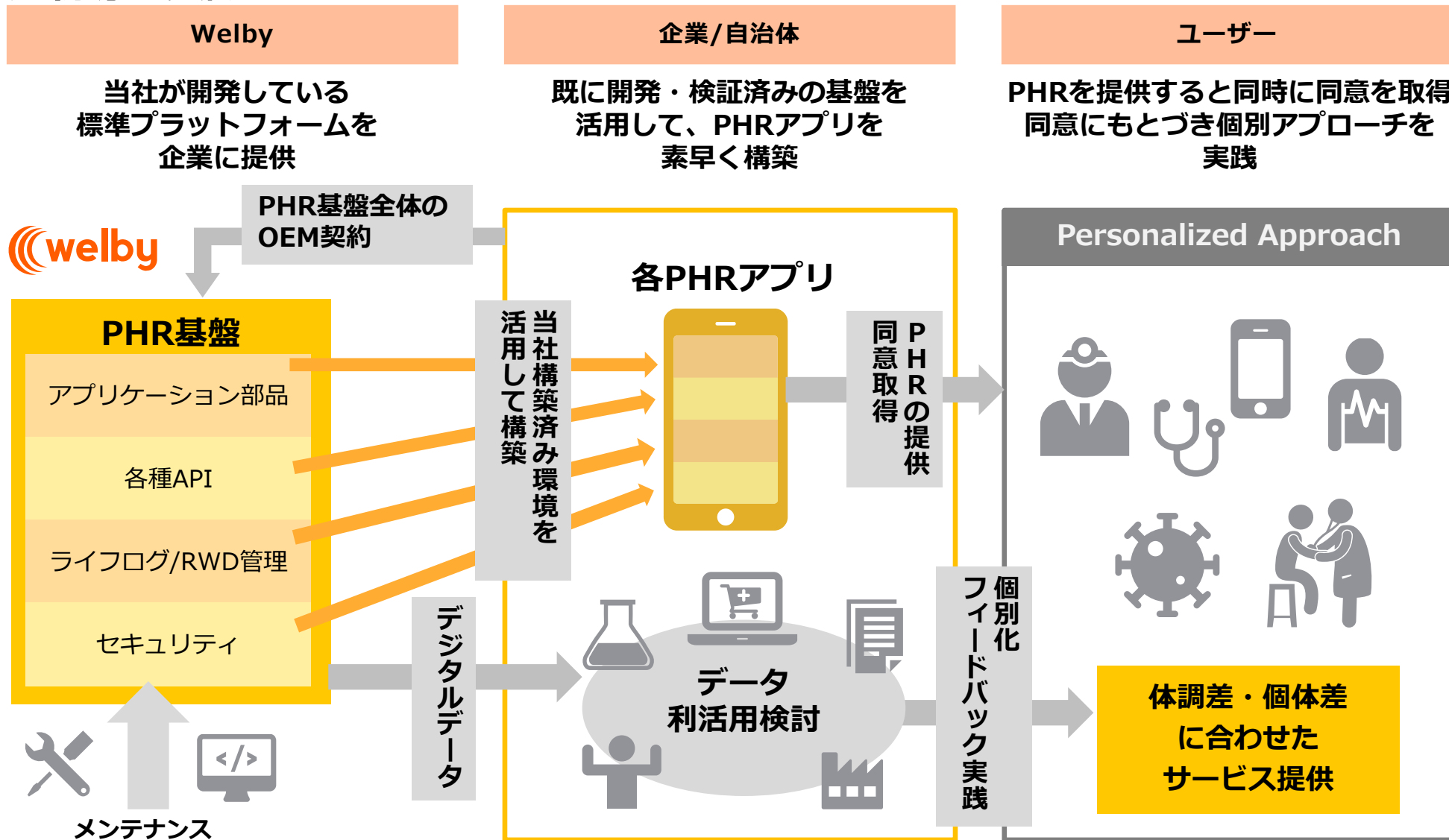
病気や薬の理解

症状記録/振り返り

課題

- ・ 知識の不足
- ・ 記録ツール不足
- ・ 経過を伝えられない

PHR基盤を共通基盤として提供することで、PHRアプリを、当社事業基盤を流用する形で開発/提供。企業や自治体のヘルスケアでのPHRサービス提供、データ分析等に貢献



食品メーカー向けヘルスケア領域パーソナライズサービス

マイカルテ利用中ユーザーへのPersonalized Approachについて、Mizkanとのトライアルを開始。ZENBシリーズの効果実感とデータ二次利用を実現



目次

1

会社概要

2

2021年12月期業績

3

重点取組施策の前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

疾患ソリューション事業

- 製薬企業向け疾患領域別PHRのOEM開発の更なる拡大（30+疾患領域をカバー）
- 疾患領域別PHRの医療機関・患者への臨床現場での普及、事業拡大：
～オンコロジー領域、循環器領域、糖尿病・代謝領域でのプラットフォーム化の推進～
- 臨床研究向けePRO、データソリューションを強化：パートナーシップでのサービス強化・拡販

マイカルテ事業

- 「Welbyマイカルテ」のプライマリ領域（循環器領域、糖尿病領域など）での更なる普及
- COVID-19に対応した個人・組織・医療機関のPHRでのサポートの強化：ワクチン接種管理
- ユーザー向けPersonalized（個別化）サービスの強化：医薬品、医療機器、+医薬品以外のドメインへの事業拡大
- PHR基盤OEMの企業・自治体向け事業化の推進
- 保険ドメインでのPHRによる事業化の推進

Real World Data事業

- 個人IDでデータを連携させるReal World DataのDBを推進：健診+検査+処方+PROデータ
- 電子カルテを中心にEMR/EHR連携の強化：データ連携+臨床現場への社会実装
- 収益基盤をスポンサードPHR開発/利用に加えて、PHRサービス・データ利用のSaaS/PaaS型事業の拡大を図る：医薬品、医療機器、+医薬品以外のドメインへの事業拡大
- 多様な連携推進によるData Portabilityの実現

既存事業で拡大しつつ、以下三分野で更なる強化を図る



中期～長期

✓ Real World Data事業

Real World Data の活用：患者レジストリ、医薬品の開発、臨床研究、市販後調査など

✓ 疾患領域別プラットフォームの推進

オンコロジー等での疾患領域プラットフォームの開発

✓ B2C向けPersonalizedサービス

個人向けDTCサービス（疾患情報提供）、B2Cサービス（物販、コーチング）、などPHRプラットフォームサービスの価値向上による収益機会の獲得

現在～短期

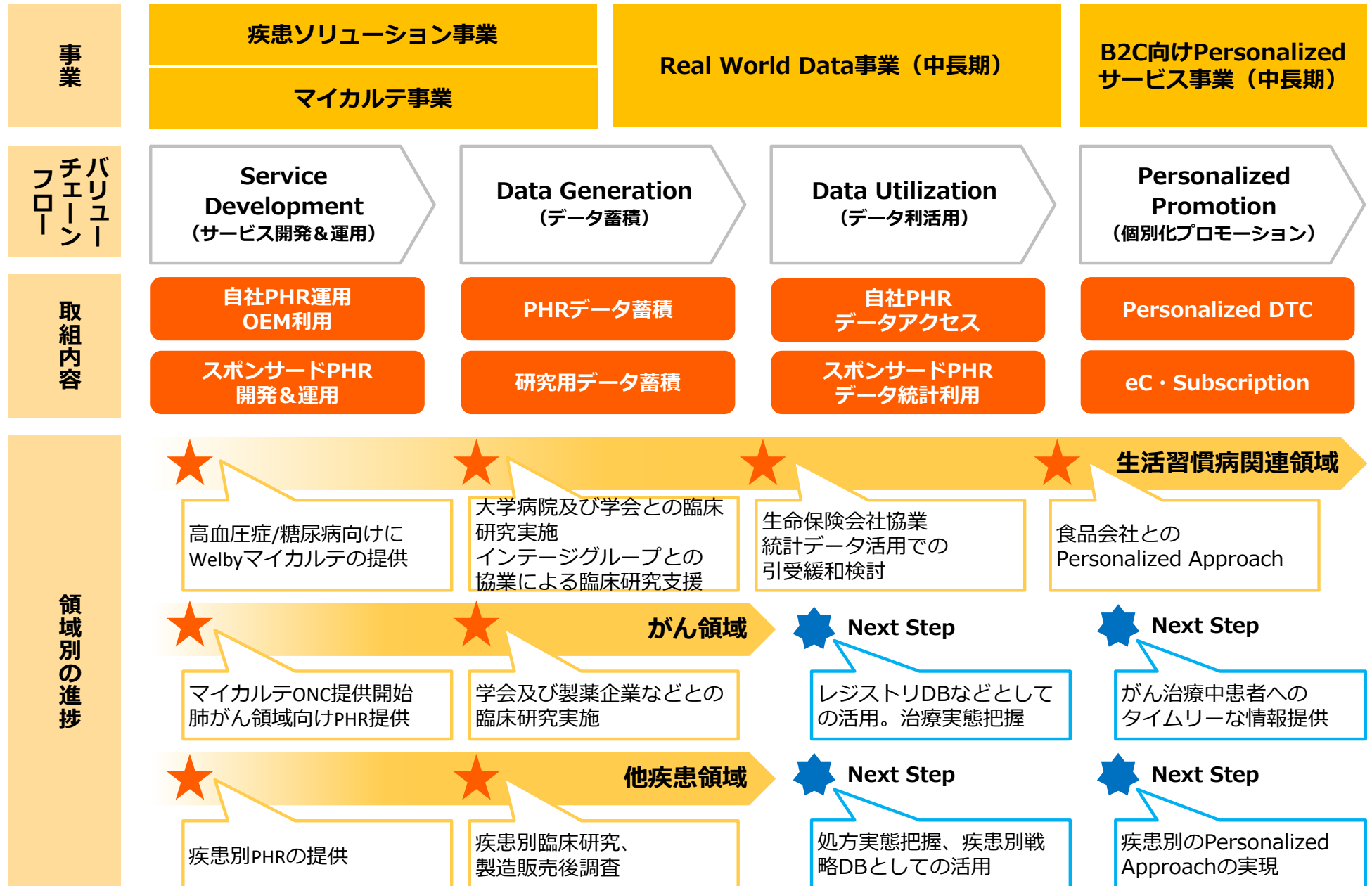
✓ 疾患ソリューション事業：

PHR適用対象疾患、対象薬品の拡大による収益拡大（マーケティング支援）

✓ マイカルテ事業：

医療機関向け+企業・健保向けソリューションによる収益拡大

短期/中長期での事業バリューチェーンとその進捗



★ 着手済みの事業 ★ 今後取り組む領域

目次

1

会社概要

2

2021年12月期業績

3

重点取組施策の前期進捗

4

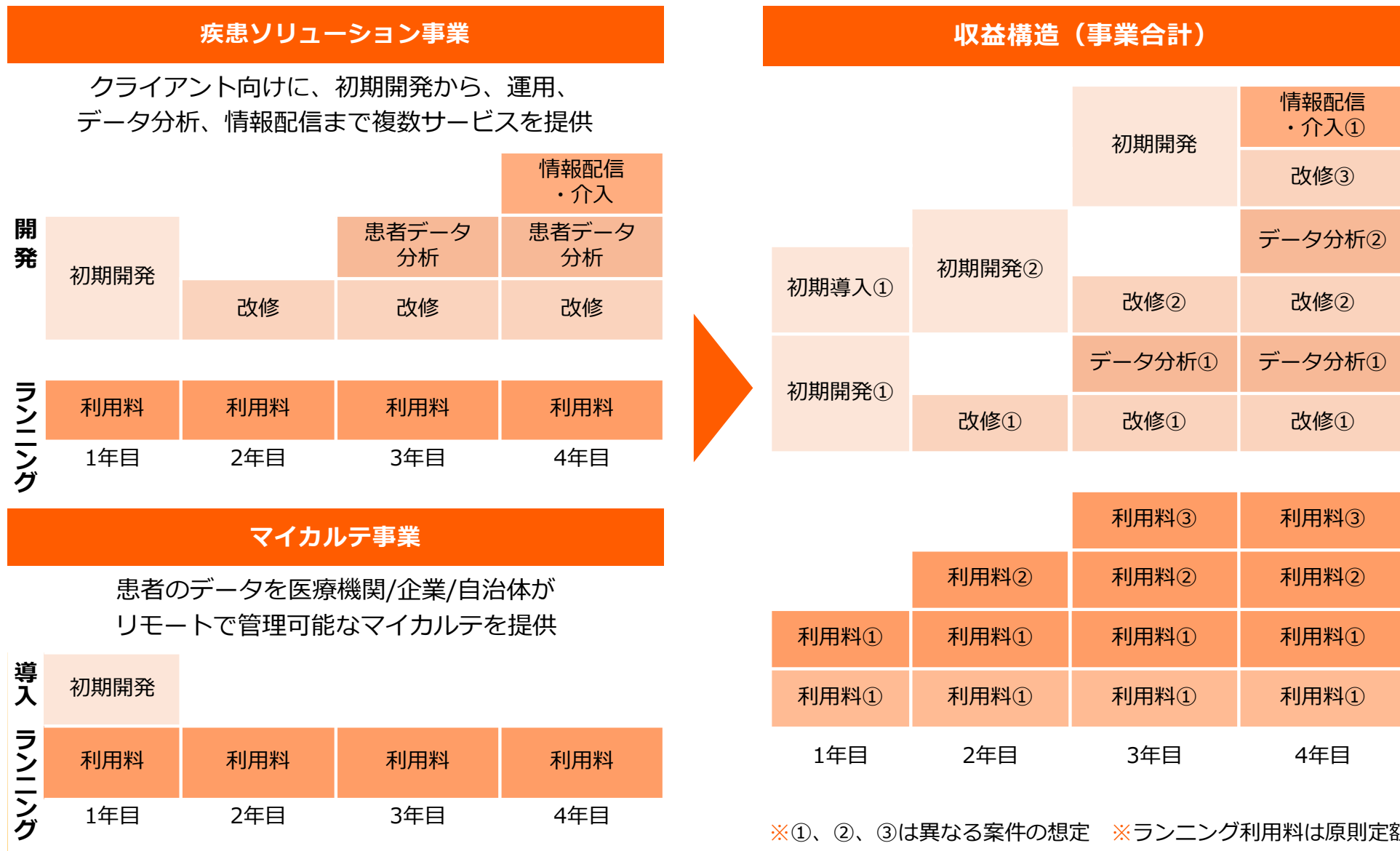
今後の成長

5

参考資料

疾患ソリューション事業は対象疾患領域拡大とサービス追加

マイカルテ事業は医療機関、企業及び自治体の導入拡充により継続的な成長を実現



「Welbyマイカルテ」

～生活習慣病（糖尿病/高血圧症）向けPHR～



記録内容・方法	測定項目
行動（生活習慣の目標管理/ToDo）	行動目標達成率
運動（歩数/距離） 活動量計と連携	歩数(歩) / 距離(km) / 消費カロリー
体重 体組成計と連携	体重 (kg)
血圧（血圧/脈拍） 血圧計連携	血圧 (mmHg) / 脈 (拍/分)
血糖値 血糖測定器連携	血糖値 (mg/dl)
おくすり 電子お薬手帳/ 処方箋QRコード	服薬記録
食事 スマホ・カメラ利用	食事の写真
睡眠 活動量計と連携	睡眠時間 / 睡眠強度
血管年齢 QRコード利用	CAVI
検査値 検査データ連携/ QRコード利用	HbA1c / コレステロールなど

患者のデータ(PRO: Patient Reported Outcome)を医療従事者がリモートで管理患者と食事の写真やデータを見ながら遠隔でコミュニケーション



大項目	項目	主要なリスク	主な対応策
事業運営	個人情報の取り扱いについて	個人情報流出等の不測の事態が生じて患者個人のプライバシーが侵害される可能性	セキュリティの強化、個人情報保護法を遵守するとともに、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)であるISO27001の認証を取得。GDPR等諸外国の個人情報保護法制についても、外部弁護士等専門家に確認をしながら対応
事業環境	競争について	PHR業界での競争は同様の規模感のものは現在明確に存在しないが、今後高い知名度、幅広い顧客基盤を有する他社の参入等、当社の競争優位性が低下する可能性	対象疾患領域での早期のユーザー獲得、提供アプリの最適なUI/UXを追求した機能設計、特色あるサービスの提供、取引の安全性の確保やカスタマーサポート充実への取り組みなどにより対応
その他	新型コロナウイルスの感染拡大について	製薬企業等の意思決定の遅延などにより受注のリードタイムが長期化する傾向	医療領域のDX(デジタルトランスフォーメーション)化の追い風を利用し、他業種を含めた商談を増やし、リードタイム管理により対応
その他	各種規制について	関連法令や業界団体による規制等の改廃、新設が行われた際に、当社が何らかの対応を余儀なくされる可能性	渉外担当者を通じて制度改正のモニタリングや管轄官庁と連携して対応
事業運営	収益の季節変動性について	外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期における売上高及び利益がそれらの時期に集中する傾向	内資系製薬企業や他業種からの受注を拡大するなど案件の平準化により対応

※有価証券報告書記載の【事業等のリスク】に記載の内容のうち、主要なリスクを重要度が高い順に抜粋。その他のリスクは有価証券報告書を参照。

回次		第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
決算年月		2017年12月	2018年12月※	2019年12月※	2020年12月	2021年12月
売上高	(千円)	474,753	808,005	798,516	864,644	1,139,189
経常利益又は 経常損失 (△)	(千円)	△76,092	153,959	△1,354	△237,404	△109,671
当期純利益又は 当期純損失 (△)	(千円)	△76,963	176,566	△11,303	△353,093	△130,675
資本金	(千円)	684,900	684,900	903,050	916,650	916,650
発行済株式総数	(株)					
普通株式		1,680	1,855,000	7,784,800	7,832,800	7,832,800
A種優先株式		175	—	—	—	—
純資産額	(千円)	1,066,763	1,243,330	1,668,327	1,357,539	1,259,278
総資産額	(千円)	1,227,179	1,406,481	1,829,182	1,520,139	1,394,108

※当社は2018年3月30日付で1株につき1,000株に分割し、2019年10月4日付で1株につき4株に分割しました。

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。

本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、「事業計画及び成長可能性に関する事項」において、進捗状況を含む最新の内容を半期決算毎に開示する予定です。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

